会社の概況（平成27年９月30日現在）

商号	信越ポリマー株式会社 （Shin-Etsu Polymer Co., Ltd.）
本社所在地	東京都千代田区神田須田町一丁目９番地
設立年月日	昭和35年９月15日
資本金	11,635,953,759円
従業員数	610名（連結3,895名）
事業所	
支店・営業所	大阪支店、名古屋支店、福岡支店、 仙台営業所
工場	東京工場、児玉工場（以上、埼玉県）、 南陽工場（山口県）
株式の状況	
発行可能株式総数	320,000,000株
発行済株式総数	82,623,376株
株主数	10,838名
グループ会社	しなのポリマー株式会社 浦和ポリマー株式会社 新潟ポリマー株式会社 信越ファインテック株式会社 株式会社サンエース 蘇州信越聚合有限公司 信越聚合物（上海）有限公司 東莞信越聚合物有限公司 Shin-Etsu Polymer Hong Kong Co., Ltd. Shin-Etsu Polymer（Thailand）Ltd. Shin-Etsu Polymer（Malaysia）Sdn.Bhd. Shin-Etsu Polymer Singapore Pte.Ltd. P.T. Shin-Etsu Polymer Indonesia Shin-Etsu Polymer India Pvt.Ltd. Shin-Etsu Polymer America, Inc. Shin-Etsu Polymer Europe B.V. Shin-Etsu Polymer Hungary Kft.

株主メモ

事業年度	毎年４月１日から翌年３月31日まで
剰余金の配当基準日	３月31日（中間配当を行う場合は９月30日）
定時株主総会	毎年６月
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目２番１号 みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告（http://www.shinpoly.co.jp/） なお、やむを得ない事由によって、電子公告によることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

株式に関するお手続

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉２-８-４ みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル　0120-288-324 （土・日・祝日を除く ９：00～17：00）
各種手続お取扱店（住所変更、株主配当金受取方法の変更等）		みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 ＊トラストラウンジでは、お取扱できませんのでご了承ください。 みずほ証券株式会社 本店及び全国各支店 プラネットブース（株式会社みずほ銀行内の店舗）でもお取扱致します。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行株式会社　本店及び全国各支店 株式会社みずほ銀行　本店及び全国各支店 （みずほ証券株式会社では、取次のみとなります。）	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

単元未満株式買増・買取のご案内

当社では、単元未満株式（１株から99株まで）の買増制度・買取制度を導入しておりますので、ご利用ください。
お手続の詳細は、上記記載のお取扱店にお問い合せください。

信越ポリマー株式会社

〒101-0041　東京都千代田区神田須田町１-９
電話　（03）5289-3712
ホームページアドレス　http://www.shinpoly.co.jp/

UD FONT　見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

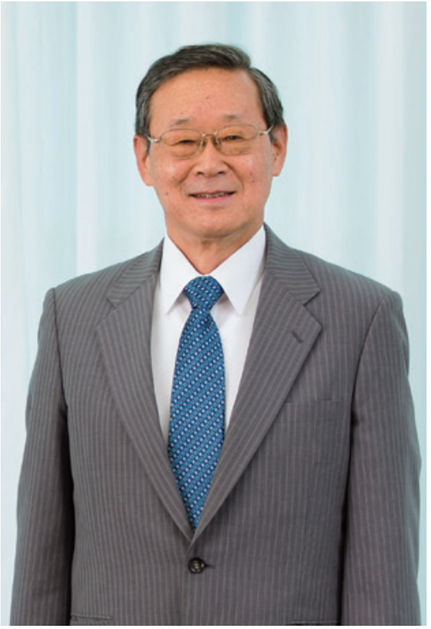
ShinEtsu
信越ポリマー株式会社

第56期 第2四半期 報告書

平成27年4月1日～平成27年9月30日

証券コード:7970

株主の皆様へ



代表取締役社長　小　野　義　昭

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

さて、ここに、当社グループの第56期第２四半期連結累計期間（平成27年４月１日から平成27年９月30日まで）の事業の概況等をご報告申しあげます。

当第２四半期連結累計期間における売上高は372億33百万円（前年同期比6.8％増）、営業利益は19億４百万円（前年同期比54.4％増）、経常利益は21億81百万円（前年同期比52.3％増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億75百万円（前年同期比46.3％増）となりました。

第56期の中間配当につきましては、前中間期と同じく１株につき金４円50銭とさせていただきました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申しあげます。

平成27年11月

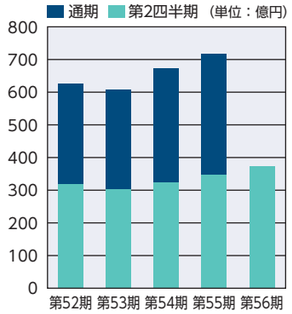
目　次

株主の皆様へ…… Ｐ１
財務ハイライト（連結）…… Ｐ２
事業の概況…… Ｐ３
四半期連結財務諸表…… Ｐ５
トピックス…… Ｐ６
会社の概況・株主メモ…… 裏表紙

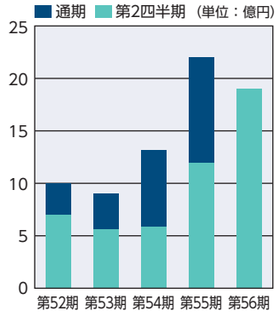
財務ハイライト（連結）

区分 ＼ 期別	第54期第２四半期（平成25年９月期）	第55期第２四半期（平成26年９月期）	第56期第２四半期（平成27年９月期）	第54期（平成26年３月期）	第55期（平成27年３月期）
売上高（百万円）	32,403	34,871	37,233	67,332	71,707
営業利益（百万円）	590	1,233	1,904	1,314	2,231
経常利益（百万円）	834	1,432	2,181	1,662	2,865
親会社株主に帰属する四半期・当期純利益（百万円）	501	1,009	1,475	720	1,777
１株当たり四半期・当期純利益（円）	6.17	12.41	18.07	8.86	21.85
総資産（百万円）	84,339	88,375	94,709	88,644	93,889
純資産（百万円）	66,197	67,991	72,707	68,088	72,250

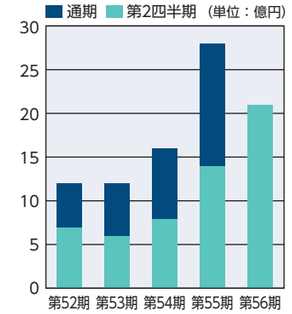
○売上高の推移



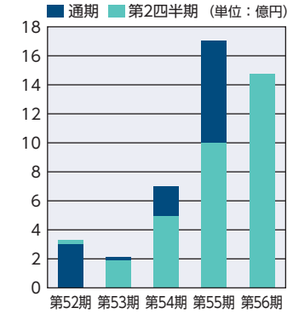
○営業利益の推移



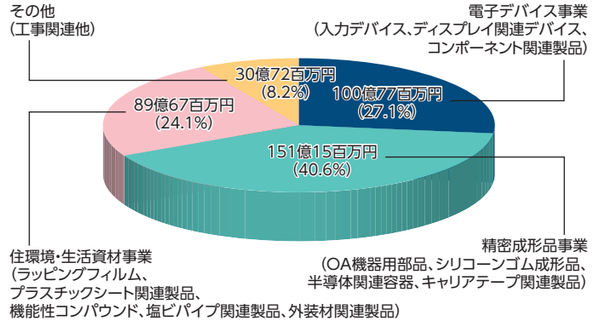
○経常利益の推移



○親会社株主に帰属する純利益の推移



○事業別売上割合（第56期第2四半期累計）



事業の概況

当第２四半期連結累計期間における世界経済は、中国の景気減速、欧州でのギリシャ問題などによる不安定感がある一方で、米国の金融政策正常化の動きや個人消費と住宅投資の加速の動きが見られ、全体的には緩やかな景気回復が続きました。日本経済は、円安進行による輸入コストの上昇などがありましたものの、企業収益の改善傾向が継続する中で個人消費も底堅く、緩やかな景気回復基調が続きました。

当社グループ関連の事業環境につきましては、自動車関連分野、半導体及びOA機器関連分野の需要が堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、販売面では、国内外での成長製品拡販に注力した営業活動を継続展開し、生産面では、能力増強や品質と生産効率向上などを目的とした設備投資を進めてまいりました。

各事業の概況は、次のとおりであります。

（事業別売上高）

事業の名称等	前第２四半期連結累計期間 （自 平成26年４月１日 至 平成26年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成27年４月１日 至 平成27年９月30日）
電子デバイス事業	86億60百万円	100億77百万円
精密成形品事業	144億15百万円	151億15百万円
住環境・生活資材事業	91億96百万円	89億67百万円
その他	25億98百万円	30億72百万円
合計	348億71百万円	372億33百万円

電子デバイス事業

当事業では、自動車関連入力デバイスを中心に好調な出荷が続くなど、全体として売上げ、利益とも前年を上回りました。

入力デバイスは、自動車の電装化進展を背景に自動車用キースイッチ及びタッチスイッチの出荷が順調に推移しました。また、薄型ノートパソコン用タッチパッドは、新機種の出荷が好調でした。

ディスプレイ関連デバイスは、視野角制御フィルムの自動車用途が伸び、液晶接続用コネクターの出荷は堅調に推移しました。

コンポーネント関連製品は、半導体検査用コネクターの出荷が伸長しました。

この結果、当事業の売上高は100億77百万円（前年同期比16.4％増）、営業利益は７億90百万円（前年同期比70.9％増）となりました。

精密成形品事業

当事業では、半導体関連容器、キャリアテープ関連製品の出荷が堅調に推移し、全体として売上げ、利益とも前年を上回りました。

OA機器用部品は、主要ユーザー向け製品の出荷が徐々に回復し、売上げは前年並みとなりました。

シリコーンゴム成形品は、メディカル関連製品や建材関連製品など主力製品が安定した出荷で推移し、売上げは前年を上回りました。

半導体関連容器は、半導体業界の好調な需要を背景に300mmウエハー用製品が伸長し、売上げは前年を上回りました。

キャリアテープ関連製品は、スマートフォン向けや自動車電装分野向けの好調な需要が継続し、その中でもセラミックコンデンサーなどの微細部品用製品の出荷が伸びて、売上げは前年を上回りました。

この結果、当事業の売上高は151億15百万円（前年同期比4.9％増）、営業利益は14億32百万円（前年同期比22.9％増）となりました。

住環境・生活資材事業

当事業では、市場の需要低迷と価格競争の激化により、全体として売上げは前年と比べわずかに減少しました。

ラッピングフィルムなど包装資材関連製品は、食品スーパーマーケット向けの出荷が横ばいでしたが、外食産業向けの出荷が堅調に推移しました。

機能性コンパウンドは、自動車用が安定的に推移したものの、太陽光発電向け電線用が低迷しました。

塩ビパイプ関連製品は、住宅着工戸数が回復基調となり、売上げは前年並みとなりました。

外装材関連製品は、価格競争の激化などにより、売上げは伸び悩みました。

この結果、当事業の売上高は89億67百万円（前年同期比2.5％減）、営業損失は３億30百万円（前年同期は３億74百万円の損失）となりました。

その他

工事関連では、首都圏を中心に商業施設の新築・改装物件の受注が増え、売上げが大きく伸びて、利益改善が進みました。

この結果、その他の売上高は30億72百万円（前年同期比18.2％増）、営業利益は96百万円（前年同期は44百万円の損失）となりました。

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科　目	前連結会計年度（平成27年3月31日現在）	当第2四半期連結会計期間（平成27年9月30日現在）
（資産の部）		
流動資産	69,663	70,689
現金及び預金	37,333	38,721
受取手形及び売掛金	19,050	18,188
たな卸資産	9,448	9,426
その他	4,254	4,797
貸倒引当金	△ 423	△ 443
固定資産	24,225	24,019
有形固定資産	20,693	20,817
無形固定資産	530	484
投資その他の資産	3,001	2,717
投資有価証券	1,551	1,324
繰延税金資産	322	324
その他	1,127	1,068
資産合計	93,889	94,709
（負債の部）		
流動負債	19,864	20,251
支払手形及び買掛金	13,338	12,597
短期借入金	0	0
その他	6,526	7,653
固定負債	1,774	1,750
長期借入金	1	0
その他	1,772	1,749
負債合計	21,638	22,001
（純資産の部）		
株主資本	67,694	68,874
資本金	11,635	11,635
資本剰余金	10,469	10,469
利益剰余金	46,321	47,391
自己株式	△ 731	△ 621
その他の包括利益累計額	3,660	2,938
その他有価証券評価差額金	441	341
為替換算調整勘定	3,200	2,584
退職給付に係る調整累計額	18	12
新株予約権	58	43
非支配株主持分	836	850
純資産合計	72,250	72,707
負債・純資産合計	93,889	94,709

四半期連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科　目	前第2四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）	当第2四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）
売上高	34,871	37,233
売上原価	25,640	27,005
売上総利益	9,231	10,227
販売費及び一般管理費	7,997	8,322
営業利益	1,233	1,904
営業外収益	297	446
営業外費用	98	170
経常利益	1,432	2,181
特別損失	–	53
税金等調整前四半期純利益	1,432	2,128
法人税、住民税及び事業税	445	676
法人税等調整額	0	△ 21
法人税等合計	446	654
四半期純利益	985	1,473
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 23	△ 2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,009	1,475

四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科　目	前第2四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）	当第2四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,394	3,141
税金等調整前四半期純利益	1,432	2,128
減価償却費	1,524	1,577
売上債権の増減額（△：増加）	△ 189	241
たな卸資産の増加額	△ 576	△ 0
仕入債務の増減額（△：減少）	79	△ 1,073
法人税等の支払額	△ 300	△ 201
その他	425	469
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,106	△ 1,264
定期預金の減少額	718	89
有形固定資産の取得による支出	△ 1,773	△ 1,399
その他	△ 51	45
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 341	△ 293
配当金の支払額	△ 365	△ 366
その他	24	72
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 609	△ 271
現金及び現金同等物の増加額	337	1,312
現金及び現金同等物の期首残高	30,786	34,823
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増加額	–	166
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,124	36,301

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

≪トピックス≫

信越ポリマーWebサイトをリニューアル

８年振りに全面リニューアルしたWebサイトは、ご利用いただく皆さまにとって、情報がより探しやすく、見やすい便利なサイトを目指しました。また、東京証券取引所に発表する決算内容などがリアルタイムに当社のWebサイトでご覧いただけるようになりました。

Webサイトを通して、当社の情報を広くお届けし、皆さまにご理解いただくことを目指します。

▲ 構成やデザインを全面的に一新し、使う端末（PC、タブレット、スマホ）によってデザインが自動的に変化する機能を加えました。

「環境・社会報告書2015」で環境保全及び社会活動を報告

１年間の当社グループの環境保全及び社会活動についてまとめた報告書が完成しました。報告書では、「コーポレート・ガバナンス」「お客様への対応」「従業員とともに」「地域社会とともに」「環境とともに」でこの１年間の活動を報告しています。また、環境配慮・貢献製品では、自動車の省エネ・軽量化に貢献している高摺動性コンパウンド『EXELAST』と、半導体の極薄ウエハーサポートシステムの一つとして、お客様の工程を削減する「Shin-Etsu TWSS」を紹介しています。

▲ 一昨年度版から、生産事業所所在地で環境省の第四次レッドリストに掲載されている「県の鳥」を四季のイメージで表しています。今年度は、新潟ポリマー（株）が所在する新潟県の「トキ」が秋の夕日の中を飛ぶ姿を描きました。

「NEPCON Thailand 2015」に出展しました

タイ・バンコクで６月24日～27日まで開催された「NEPCON Thailand 2015」に昨年に続き出展しました。出展品は、開発製品含め、電気・電子機器、自動車分野、半導体関連資材分野、医療・理化分野の東南アジア向けの製品です。当社ブースには多数の来場者があり、昨年同様、『shupua』で作ったタワーは来場者の目をひときわ引きつけ、新製品の『shupua華／蕾』のデザインを讃える声が相次いでいました。

当社のブースの『shupua』タワーを囲んで ▶